

多摩消防団だより

第 6 号
発行

平成 22 年 2 月 吉日
多摩消防団広報部
印刷所
井上印刷所



火の用心、いつも我家の合い言葉

平成二十二年一月七日、よみうりランド駐車場において多摩区消防出初式が行われました。当日は晴天に恵まれ、日本女子大学付属高等学校吹奏楽クラブの演奏や明治大学体育会馬術部、専修大学体育会馬術部のアトラクションが披露されました。最後は消防隊による一斉放水で冬空にきれいな虹が映し出されました。

平成二十二年 多摩区消防出初式受賞者（敬称略）

市長表彰

永年勤続功労消防団員

稲田分団分団部長 木幡義幸

稲田分団分団部長 手塚貴久

稲田分団分団員 井田和彦

優秀消防分団

稲田分団

多摩消防団長表彰

勤務成績優秀消防団員

稲田分団班長 中野昌彦

生田分団分団部長 萱守重次郎

勤務成績優良消防団員

稲田分団

菅班団員 田口雅明

菅班団員 板橋貴史

中野島班団員 本多 工

登戸班団員 白石 孝

宿河原・堰班団員 石田孝行

長尾班団員 榊田拓希

生田分団

東生田班団員 鈴木 仁

中央生田班団員 小峰聖純

長沢班団員 稲木 剛

大作班団員 横山信彦

退職消防団員

元稲田分団班長 大久保修一

元稲田分団班長 元木洋一

元稲田分団団員 木下 朗

元稲田分団団員 伊藤祐一

元生田分団分団部長 佐々木 敦

元生田分団団員 石川 隆

元生田分団団員 春藤功史

元生田分団団員 関 吉典

多摩防火協会会長表彰

消防功労部隊

稲田分団 菅班

生田分団 東生田班

年頭にあたり

多摩消防団長 松澤忠志

平成二十二年の輝かしい新春を迎え、謹んでお喜びを申し上げます。

一月七日の多摩地区消防出初式では、ご来賓をはじめ大勢の皆様方のご参加を頂き、心からお礼申し上げます。

昨年は当多摩地区では大きな災害もなく、火災も一昨年より少なくなりました。今後とも地域の皆様方のご理解とご協力を賜りまして、安全安心まちづくりの実現に向けて努力する所存であります。

終わりにあたり、皆様方のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げ、年頭の挨拶と致します。

新年のごあいさつ

多摩消防署長 平野敏行

新年、明けましておめでとございます。

昨年を振り返りますと、川崎市全体の火災件数は、平成七年以来、十五年振りに四百件を下回りました。また、多摩区においても火災による死者が一人も発生しなかったことは、まことに喜ばしいことで、二十一万区民の安寧が保てた一年ではなかったかと思っております。

そして、地域の皆様が、明るく元気な社会活動を営まれるよう昨年にも増して、努力してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと存じます。

ポンプリフターを使用した
遠距離送水訓練について

稲田分団菅班班長 端中正彦

平成二十一年三月十二日に菅の三沢川において、多摩消防署・多摩消防団菅班・中野島班合同でポンプリフターを使用した遠距離送水訓練を行いました。

ポンプリフターとは、平成二十年五月に三沢川に設置された小型可搬ポンプ用昇降装置のことで、大規模地震及び断水時等における火災防御に使用する水利を確保するために設置されたもので、菅町会が管理しています。

また、川底には、湯水時吸管を投入するための取水口も掘ってあります。

今回は、ポンプリフターの実効性を確認するとともに、消防署・消防団が連携し自然水利からの遠距離送水訓練でした。

最近では訓練した場所から六百メートル下流にも、ポンプリフターがもう一台設置されました。
有事の際、可搬ポンプを台に載せて手動で五メートル降ろして消火活動をするわけですからスムーズに使いこなせるように努力してまいります。



生田分団分団旗祭開催にあたって

生田分団分団長 関 喜範

七月二十五日、松澤団長をはじめ本団の方、平野署長、そして町会自治会関係者、OBの御臨席の下、桁形中学校の校庭にて恒例の「分団旗祭」を挙行しました。

新入団員を入れた全分団員のきびきびとした小隊訓練と各班の小型ポンプ操法を披露しました。

今後、我々団員の技術の向上と新入団員の育成に励みたいと思います。

稲田分団操法大会

稲田分団分団長 濱田基男

私が入団以前より行われている伝統の行事が今年七月二十六日(日)に松澤団長・平野署長他関係者をお迎えし犬蔵にある川崎市消防総合訓練場で開催されました。

開会式では全体が整列し各班人員報告の後、分団旗拝を行います。開会式終了後全五班による小隊訓練、小型ポンプ操法を実施しました。

この大会は消防団員としての基礎的な技術・行動を習得すると共に団員相互の信頼関係を築く大切な役割を持っています。

消防団に入団して 平成二十一年度新入団員

稲田分団中野島班 本多 工

ボランティアの一環として地域貢献出来ればと思い、入団を志願致しました。地域防災の先遣実動部隊としての期待を多くの方から受けている環境に、身が引き締まる思いで精進しております。

稲田分団登戸班 井上貴智

まだ不慣れな点が沢山ありますが、第十回記念操法大会では、一番員として優勝できました。これからの人生の活力になると言っても過言ではないと思います。班の先輩方や環境にも恵まれ、幸せに思います。

稲田分団宿河原・堰班 柿崎智幸

入団して二ヶ月・・・深夜三時初めての炎上火災でした。現場に着いても何をしたらいいのか分からず、右往左往しているだけでした。まるで戦場のような火災現場でも冷静かつ的確な指示、行動をしている先輩団員に圧倒させられてしまいました。少しでも先輩達に近付けけるように、訓練に励んでいきたいと思っています。

稲田分団宿河原・堰班 関山雅人

入団して約半年、まだ大きな火災には直面しておりませんが出動機会は幾度かありました。そのたびに肌で感じる緊張

感。現場で冷静・迅速に行動をする先輩方を見て、私も早く一人前に行動できるよう成長しなければと思いつつ改めて防災意識の重要性を感じました。

生田分団長沢班 関 宏樹

消防団に入って八ヶ月経ちました。仕事や家の事であまり余裕がなく、そんななか消防団で色々な行事があり、正直消防団に入ってよかったのか？とも思っています。消防団に入ってよかったと言える日が早く来る様にガンバってきたいです。

生田分団長沢班 松澤宏昭

仕事の都合で実家に戻り、「何か地域の為に役立ちたい」と思っていた時に入団の話を頂きました。自分が生まれた町に対して貢献できる事を光栄に思い、次の世代にも引き継げるよう活動して行きたいと思っています。

生田分団大作班 鈴木 勉

消防団に入団して半年になりますが、まだ火災現場には行った事はありません。五月からの三ヶ月間、操法の訓練を行ってきました。操法大会を観て、訓練はいざという時に、いかに大事な事かと実感しました。

消防フェアの参画

今年度は、よみうりランドにて三回の消防フェアを開催し、約二千人の来場者に対して火災予防及び消防団活動のPRを行いました。

また、十一月十五日のよみうりランド市民開放デーでは、日本社会人アメリカンフットボール協会や明治大学応援団吹奏楽部並びに関係団体と防火パレードを行い市民に対してPR効果を高めました。



消防団車輛

(小型動力ポンプ付積載車)の更新

今年度、稲田分団登戸班・生田分団中央生田班の二班に、消防団車輛が更新され、十二月三日に多摩消防署において引き継ぎ式を行いました。

第十回記念多摩消防団消防大会

平成二十一年八月二日、明治大学生田キャンパス内に於いて第十回記念多摩消防団消防大会が行われました。当日は雨にもかかわらず、大勢の来賓の方々をお迎えし、選手達も日頃の訓練の成果を発揮しました。

優勝 稲田分団登戸班

班長 吉澤和明

今回第十回記念大会に優勝する事ができ、日頃よりお世話になっております皆様方には深く感謝いたします。また、私を支えてくれた団員の方々にも感謝します。

今年の操法大会は優勝を目指すことと将来、操法を指導できる人員の育成をテーマにして、中堅の団員に操法訓練指導者として核になってもらい、若手中心の訓練を行ってもらいました。選手選考も幹部を含め、皆で話し合い決める様にしました。また、選手発表も大会の一週間前まで発表せず、選手候補の誰が選ばれてもいい様な雰囲気を作り、班全体のモチベーションが下がらない様にとめました。当初は色々な不安やうまくいかない事もありましたが、最高の結果が出てたいへん嬉しく思います。



優秀指揮者 稲田分団中野島班 石井元康

練習はスピードより規律重視でおこないました。自信のない箇所を一つづつ重点的に反復練習しながら、指導員や、指揮者経験者の方といろいろ話し合って仕上げていきました。当日は雨の中、足場を意識しながら、滑らないように気をつけ、あとは楽しんでやろうと思ひ臨みました。今回最優秀指揮者を取れたのは、選手四人と中野島班のみんなの力を合わせる事が出来たおかげだと思っております。

優秀一番員 生田分団中央生田班 松澤直人

操法大会の約二ヶ月前から週二回先輩方に教えてもらいながら、訓練しました。八月二日雨の中操法大会が始まり、班の選手達と二ヶ月間、先輩方に教えて頂いた事を思い出しながら大会に挑みました。緊張の中、自分なりに精一杯の力を出せたと思ひます。

その結果、一番員の最優秀賞を頂く事が出来、いい経験になりました。これからも訓練して消火活動や次に入団して来る団員にも指導し役に立てるように頑張っていくと思ひます。

優秀二番員 稲田分団菅班 上原敏之

今回の大会で初めて二番員として参加しました。節度を重視して訓練してきました。稲田分団操法大会では、減点が多く何をどうしたらいいかわからない状態でした。本大会に向けて、とにかく周りから見えておかしい部分を改善する為に、指導者をはじめ班員の方々から、気付いた点を指摘してもらい、臨んできました。その結果、今回のような賞を頂く事が出来ました。ありがとうございました。

優秀三番員 稲田分団菅班 田口雅明

私は消防に入って七年目になります。今まで操法の選手では二、三番員、指揮をやらせていただいておりますが、三番員は今年で三回目だったので、ある程度流れを把握してました。その分「節度の良い行動を」と思っていました。しかし思っていたより頭の中に残ってなく、体もついていけなく、苦戦しました。指導員、選手、団員の方にアドバイスをいただいた結果この様な素晴らしい賞をいただけました。菅班の結束、家族の協力があってこそ、いただけた賞だと思います。これからも、地域の皆様方のために頑張っていくと思ひます。

編集後記

多摩消防団だより第六号の発行に際し、御協力頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。

多摩消防団広報部一同